

目次

第1章 推進計画の基本的事項	1
1 計画策定の趣旨及び改定	2
2 計画の位置付け	2
3 県民意見の反映等	2
4 計画の期間	2
第2章 新潟県における犯罪の現状と県民意識	3
1 犯罪の現状	4
(1) 刑法犯の認知・検挙状況	4
(2) 犯罪の罪種別の状況	4
(3) 特殊詐欺の発生状況	5
(4) 犯罪の場所別・地域別発生状況	6
(5) 少年非行	7
2 県民意識	8
(1) 新潟県の治安に関する印象	8
(2) 身近な犯罪に対する不安感	8
(3) 地域の防犯活動に関する関心度と活動実態	9
第3章 犯罪発生の一般的な背景と要因	11
1 社会全体の規範意識の希薄化	12
2 地域社会の一体感・連帯感の希薄化	12
3 一人一人の防犯意識の不足	12
4 高齢化の進展と見守り機能の低下	12
5 子どもを健全に育成する機能の低下	12
6 インターネットの社会基盤としての定着化	12
7 犯罪のグローバル化	12
第4章 犯罪のない安全で安心なまちづくり推進の基本方向	13
1 県民の防犯意識の向上	14
2 地域防犯力の向上	14
3 地域防犯活動を支える人材の育成	14
4 子どもを犯罪に関わらせないための見守り活動の促進	14
5 防犯上配慮を要する者の安全確保	14
6 犯罪防止に配慮した環境設計	14
7 犯罪被害者等に対する支援の促進	14
8 当面する重要課題への対応	14
第5章 推進計画の基本目標と重点的な目標	15
1 基本目標	16
2 重点的な目標	16
3 その他の目標	16

第6章 計画の施策体系	19
I 県民の防犯意識の向上	21
1 犯罪被害防止に向けた意識啓発	21
2 犯罪情報等の発信	23
II 地域防犯力の向上	24
1 防犯ネットワークの整備と活用促進	24
2 推進体制の整備	25
3 地域の特性を考慮した防犯対策	26
4 事業者との連携	26
5 自主防犯活動の活性化	27
III 地域防犯活動を支える人材の育成	28
1 防犯リーダー	28
2 地域における見守りの担い手	28
3 防犯責任者	28
4 学生防犯ボランティア	28
IV 子どもを犯罪に関わらせないための見守り活動の促進	29
1 子どもの健全育成のための啓発教育活動の充実	29
2 非行防止・いじめ防止対策の推進	30
V 防犯上配慮を要する者の安全確保	32
1 学校・通学路等における子どもの安全確保	32
2 子どもと女性の安全対策の推進	34
3 高齢者と障害者の安全対策の推進	36
VI 犯罪防止に配慮した環境設計	38
1 公共空間における防犯性の向上	38
2 住宅の防犯性の向上	39
3 繁華街対策の充実	40
4 自治体の「都市計画」への反映	40
5 サイバー空間の安全・安心の確保	41
VII 犯罪被害者等に対する支援の促進	42
1 犯罪被害者等に対する支援等	42
2 犯罪被害者等の支援を行う団体等との連携	43
VIII 当面する重要課題への対応	44
1 特殊詐欺被害防止対策	44
2 鍵かけ防犯対策	45

参考資料	47
○ 新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議設置要綱	49
○ 新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会規約	51
○ 新潟県安全・安心なまちづくり庁内推進本部設置要綱	54
○ 新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例	57
○ 新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例施行規則	63
○ 学校等における子どもの安全確保のための指針	64
○ 通学路等における子どもの安全確保のための指針	67
○ 道路等の犯罪の防止に配慮した構造、設備等に関する指針	70
○ 住宅の犯罪の防止に配慮した構造、設備等に関する指針	73
○ 防犯カメラの設置及び利用に関する指針	80
○ 民間の防犯カメラの設置及び利用に関する留意事項	83